



# 大阪府岸和田市立 太田小学校

## 学習活動に合わせて効果的に活用！

### ～ 継続的に授業で活用するコツ～

太田小学校では、単元のまとめや既習事項の復習にeライブラリのドリルやプリントを活用しています。今回は、4年生の授業の様子とeライブラリの活用を広めるための取り組みをご紹介します。

#### ■ 教科・単元を自分で選び、学期の総復習



**国語** **社会** **算数** **理科**

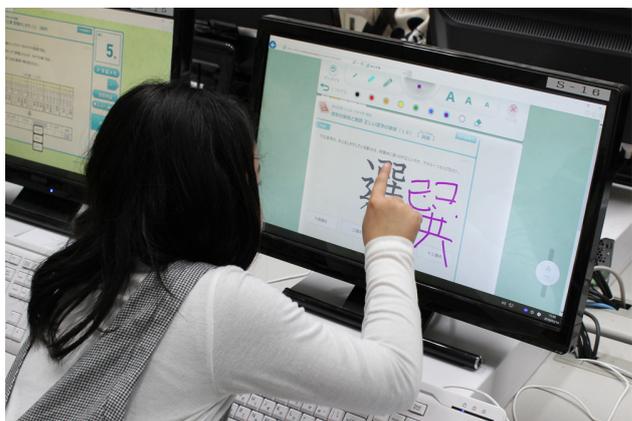
#### 3学期の学習範囲

この日は、既習単元の復習のためにeライブラリのドリルで4教科の学習をしました。

「子どもによって得意・苦手な教科や分野が違うため、**自分の進度で主体的に学習できるeライブラリは授業に取り入れやすい**です。また、自分で身につけたい力を考えて教材を選べるところも良いです」と

内田先生。児童は基本から挑戦問題まで集中して学習していました。

#### ■ 漢字の筆順や画数の確認に、手書きメモ機能を活用



▲ タッチパネルのモニタに筆順を書き込む

#### 国語 漢字の筆順と画数

4年生で学習した漢字の復習では、手書きメモ機能を使って問題を解く姿が見られました。**筆順問題の漢字をなぞり、何番目の筆順かを確認し正答を導き出しています。**

漢字の画数を問われる問題では、**問題文の横に出題された漢字を書き込み、画数を確かめてから解答**していました。画数の多い漢字も、モニタに大きく書き込み、「はね」や「はらい」を意識して学習しています。

#### インタビュー

#### eライブラリを使って良かったこと

普通教室で一斉に課題に取り組むと、児童の学習進度によって課題が終わる速さが違います。そのため、先に課題が終わった児童は待たなければいけません。eライブラリは、**自分で教科や教材・難易度を選んで学習を進められるため、全員が平等に学ぶ時間を作れる**ところがポイントです。

また、先生が出張のときに、誰が担当しても同じ授業ができることも良いところだと思っています。



4年生 担任  
内田 有紀 先生

# eライブラリの活用を広げるための取り組み



▲ 事前準備完了！

eライブラリで学習するときは、児童が一人でも多くの問題に取り組むことができ、先生も授業をすぐに始められるように、事前準備を行っています。**事前準備を運用に組み込むことで、無理なくスムーズに授業を進めることができ、継続的なドリル活用につながっています。**

また、田所教頭先生の積極的な声かけにより、プリント教材の活用も始まっています。

## eライブラリ活用のねらい

- 学習目標や学習活動に沿ったさまざまな教材を効果的に活用し、児童の興味・関心や学習意欲を高め、基礎基本の定着を図る。

## 教頭先生の工夫

- 児童がパソコン教室に来てすぐに授業を始められるように、事前にパソコンの電源を入れ、eライブラリを起動しておく。【事前準備】
- IDカードの紛失を防ぐために、授業前に各机に配布する。【事前準備】
- 授業が終わったらIDカードを回収する。
- IDカードの破損を防ぐために、ラミネート加工をする。

## 児童の様子

- 授業が始まったら、IDカードを見ながら一斉にログインし、スムーズなドリル学習ができていた。
- つまづいた問題は、友達同士で教え合うことで、互いに意欲や集中力が高まっていた。

## インタビュー eライブラリの活用に至るまでの取り組み

### 保護者説明会の開催と家庭学習の定着について

本校では、家庭学習の定着を図るために10月の授業参観の後に、eライブラリの家庭学習サービスの保護者説明会を実施しました。保護者もとても興味をもっていただようで、予想よりも参加希望者が多く、2部制で実施することになりました。

**家庭のスマートホンやタブレットで手軽に学習できることや、子どもたちが頑張ったことが学習履歴として残り、保護者や先生から確認できるところが、家庭学習の定着につながっています。**子どもたちは、プリントの家庭学習よりも楽しみながら主体的に学習するようになりました。



教頭  
田所 広行 先生

### 授業支援と校内の活用について

9月にラインズの授業支援を各クラスで実施したことで、eライブラリの活用が広がっています。今では、子どもたちも操作に慣れ、リトライ機能や解説教材などを使い、主体的に学習を進められるようになりました。また、友達が学習している姿から刺激を受け、さらに学習意欲が高まっているようです。

来年度は、1年生にドリルの操作支援・他学年にその他のコンテンツを利用した調べ学習の操作支援をお願いしたいと思っています。また、職員研修ではプリント教材の活用をテーマとした研修を行い、eライブラリを活用するクラスをさらに増やしたいと考えています。

※ 本紙の情報は取材当時（2017年度）のものです。

# 5年生での「調べ学習」に向けて、検索の練習

国語 社会

## ねらい 調べ学習の仕方を知る

授業の後半では、5年生で行う調べ学習に向けて、eライブラリのニューワイド学習百科事典を活用して、調べ学習の仕方を練習しました。

この日は、日本地図から各地域の特色の調べ方や百人一首の絵札の名称から意味を調べています。

岸和田市の写真や伝統行事の情報が見つかり、「他の地域も調べてみたい!」と**調べ学習への意欲・関心がとても高まっていました。**



▲ 調べたい地域をクリック!



▲ 地域の伝統行事を調べる



▲ 百人一首の絵札と意味を調べる



▲ 動画コンテンツを見てみる

# まとめにプリント活用

理科 ねらい

## 習熟度に応じてプリントを使い分け、定着を図る

5年生では、理科の学習でeライブラリの単元別プリントと強化プリントを活用しています。

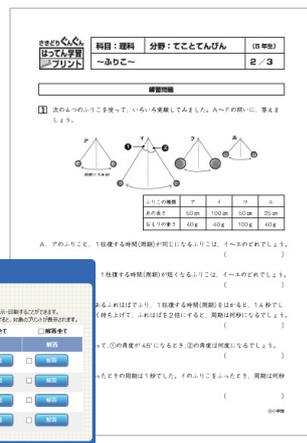
「難易度別に分かれているプリントは、授業でも使いやすく、毎単元のまとめで必ず利用しています」と牲川先生。

全員が同じプリントで学習するだけでなく、習熟度に応じて使い分けることで、学習意欲が高まります。

先生メニューから一括印刷



▲ 単元別プリント



▲ 強化プリント

## インタビュー プリント教材活用のポイント

eライブラリのプリント教材は種類が多く、児童の習熟度に応じて使い分けできるところが良いと思います。プリントの中でも「強化プリント」は、児童からとても人気であり、**教科書に掲載されていない発展問題に取り組めることが楽しいようで、児童の学習意欲にもつながっています。**

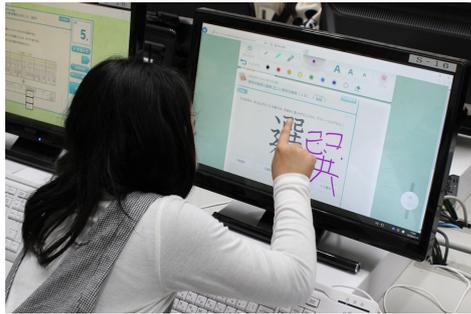
また、これまではプリントの準備にとっても時間と手間がかかっていましたが、eライブラリのプリント教材は画面上でプリント内容を確認でき、一括で印刷もできるので、教材準備の時間短縮になり重宝しています。



5年 担任  
牲川 宏 先生

手書きメモ機能を使った、学習の様子

国語 漢字の筆順と画数



▲ 筆順を書き込んで確認する



▲ 「はね」や「はらい」を意識！



▲ ドリルで正誤判定！

手書きメモ機能の特長

思考プロセスの可視化で可能性が広がる！

ドリル問題とセットで、計算式や考え方などの学習プロセスを履歴として残すことで、学習者自身のふりかえりを充実させることができます。

ドリルから、簡単にメモ画面を開ける！

半透明のメモが画面上にレイヤ表示されますので、ドリル問題やヒントの内容を確認しながら、計算をしたり、補助線等を書き込んだりと、自由にメモをとることができます。

メモ領域は、問題の約2倍の広さ。スクロールして使えます。

操作パネルから、色や太さ等を選べます。

先生メニューから、児童生徒の学習メモ内容を確認できる！

学習履歴画面上に表示される「学習メモアイコン」を目印に、メモ内容をすばやく確認できます。

【学習メモあり】の教材を絞り込むこともできます

- ※ 「学校管理者メニュー」から、手書き学習メモ機能の利用有無(ON/OFF)の設定ができます。
- ※ 手書き学習メモ機能は、学校や家庭学習サービスでご利用いただけます。Internet Explorerの対応バージョンはIE11のみとなります。そのため、IE10以前のブラウザでは、ドリルをご利用いただけない場合があります。推奨環境のOS・ブラウザでご利用ください。推奨環境の詳細は、当社ホームページまたは、家庭学習ログインページ下部のリンクからもご確認いただけます。